

【第34号 2016/11/1】

目次：

1. 遠藤大使からのメッセージ
2. 領事・治安情報
3. 広報文化のお知らせ
4. 経済協力のお知らせ
5. 政治経済情勢

1. 遠藤大使からのメッセージ

はじめまして、先週、駐パナマ大使として着任しました。

これまでは、日本の外務省において、主に国際機関やマルチの協議の場での勤務の機会が多く、直近では、日本の海上交易上の生命線であるマラッカ海峡の海上安全に係る国際機関の事務局長として2期6年にわたり、その本部があるシンガポールに勤務しておりました。

この関連で、日本の海上交易にとってもう一つの生命線上にあるパナマ運河を有するパナマという国に対しても興味を有してはおりました。他方、着任してから今日まで、短い期間ですが、林立する高層ビル街や、一方でコロニアルな風情が漂う旧市街、美しい自然等この国の多様なプロファイルを目にし、日々さらなる興味を掻き立てられています。

そのような中で、この国が、従来のパナマ運河に重点を置いた国造りから、近年は航空、情報、金融、観光等、幅広い分野に焦点を当て、地域のハブ国家としての機能を強化する方向性を打ち出して発展を遂げつつあるのを目のあたりにすると、私が直近まで勤務した東南アジアにおけるハブ国家としてのシンガポールと多くの部分でイメージが重なり合う感じがしております。シンガポールは独立してから50年の間に東南アジア地域のハブ国家として目覚ましい発展を遂げましたが、その過程で日本の官民の協力支援が大きな貢献をしたことは広く知られています。パナマもその点に強い関心を有し、我が国の東南アジアで培った協力の実績を念頭に、我が国からの官民の協力を得て同様の発展を目指しているように考えられます。

我が国として、パナマのこのような新たな国造りに対し、どのようにパナマ側の期待に沿って官民が連携しつつ協力できるか、今後両国間の共通のアジェンダとして浮上してくるものと思われます。この関連で、赴任前に東京で様々な分野の方々と面談する機会がありましたが、日本の各方面からのパナマへの期待は近年非常に高いものがあるとの印象を受けました。最近では双方の頻繁な要人往来、本年4月のバレーラ大統領訪日、またその際に合意されたパナマ市メトロ3号線建設計画に係る円借款の供与、さらには国際金融の分野での透明性向上を目的とした租税情報交換公文の署名が実現するなど、日・パナマ間の協力関係は深化・拡大の方向を取りつつあります。

このような、日・パナマ間の友好協力関係が“上げ潮”状況にある時機に、この国に駐パナマ大使として勤務できることを大変嬉しく、またチャレンジングな任務であると考えております。着任以来の当地要人への表敬訪問においても、日本からの企業進出や援助に対する高い評価と期待が表せられております。そのような日・パナマ間の友好協力関係の進展を現地で目のあたりにするにつけ、これまでご尽力されてきた在留邦人の皆様はじめ関係者の努力に思いを馳せながら、今後どのような協力ができるか皆様ともご相談しながら当館としてできる限りの努力をしていきたいと考えております。

また、そのような状況の中で、大使館としての大きな使命の一つである在留邦人をはじめとした在外邦人の安全確保には最大限の注意を払っていきたいと考えております。時として、日本の在外公館の敷居が高いとの声を耳にしますが、当館は皆様にとって親しみやすく、皆様のお役に立ち、そして皆様と共に歩いていく大使館でありたいと願っております。また折に触れ、私の率直な印象等を皆様にご紹介する機会や、皆様の感じておられることについてご意見をお聞きする機会もあろうと思っておりますので、本日は以上をもって、簡単ですが、私の着任の挨拶とさせていただきますと思います。

(10月31日 記)

2. 領事・治安情報

●カラバナバザーのお知らせ（実施報告）

去る、10月27日（木）にカラバナバザーが実施されました。例年、欧米、中南米、アジアの多くの国がスタンドを出展し、今年は日本も含めて35カ国が参加し、各国独自の飲食物や民芸品などを販売し、右収益金を寄付してパナマの貧しいコミュニティーの社会経済発展のために役立てています。今年はクルンディ地区の2つのNGO団体をとおして、学校2校の天井や台所の建設に役立てる予定です。また、今年は、多くの在留邦人の皆様にお越し頂いて、ありがとうございます。更に、在留邦人の何人かの方々には、当日の販売を大使館員やスタッフと一緒にボランティアペースでやって頂けまして、心より感

謝申し上げます。

●邦人被害の発生について（路上強盗）

10月22日（土）の午後6時頃、オバリオ地区（ベジャ・ビスタ）において、当地居住の日本人が徒歩で移動中、路上強盗の被害に遭いました。

被害発生時、現場は人や車の通行がほとんどない状況でした。オバリオ地区には日系企業を含む多くのオフィスがあり、平日は多くの車や人の往来があるものの、

週末は閑散としていて犯罪が発生しやすい状況になります。この地区では過去1年間に、レストラン強盗やひたくりなども発生しています。

在留邦人の皆様におかれましては、犯罪被害防止の点から昼夜を問わず、人通りの少ない路地を徒歩で移動するのは避けるよう、心がけてください

●外務省海外旅行登録「たびレジ」のご案内

「たびレジ」は、3か月未満の短期渡航者（海外旅行者・出張者）向けに開始された安全対策に関するサービスです。

外務省ホームページの専用サイトに必要事項（旅行日程、滞在先、連絡先など）を入力することにより、滞在先の最新の渡航情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などの受け取りが可能となります。

（3ヶ月以上の海外滞在予定の方は、ホームページ上又は大使館での「在留届」の提出をお願いします。）

詳細は、下記をクリック。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_000988.html

●当国居住未成年者の出国時の諸注意について

お子様を連れて日本に帰国するなど、当国を出国する場合、事前に準備すべき必要書類があります。

詳細は、下記をクリック。

<http://www.panama.emb-japan.go.jp/jp/consular-affairs/?p=consularoverview>

●危険・スポット・広域情報

本情報は、パナマに渡航・滞在するに当たって注意が必要な情報をまとめたものです。詳細は、下記をクリック。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo.asp?id=256#ad-image-0>

3. 広報文化のお知らせ

●メキシコ国際交流基金蟻末日本語上級専門家の来訪

来る11月9日(水) 14:00~17:00まで、当館において日本語教育研修を実施する予定です。対象者は、現職の日本語教師(パナマ人、外国人、日本人等国籍を問いません。)他将来日本語教師を目指している方です。

つきましては、同研修の受講を希望される方は、領事・警備班の古川に、11月7日(月)までにご一報願います。

4. 経済協力のお知らせ

●新着ボランティア紹介

パナマにおける JICA 青年海外協力隊(ボランティア、シニアボランティア)として2016年10月より活動される3名の方を紹介します。

【氏名】木村 歩美(きむら あゆみ) 隊員(東京都出身)

【活動内容】コクレ県エルバジェ・デ・アントンにて、ランの栽培支援を行います。

【ひとこと】趣味のカメラを通じて、パナマのランとその栽培活動をみなさんに紹介していきたいです。

【氏名】小久保 美佳(こくぼ みか) 隊員(愛知県出身)

【活動内容】ベラグアス県ノルマル教員養成学校にて、理科教育における指導支援を行います。

【ひとこと】学生時代に農業生態系の研究のため、ラオスに滞在したことがあります。パナマは初めてです。パナマでも昆虫観察や実験を通じ、指導支援を進めて行きたいと思えます。

【氏名】齋藤 芳子(さいとう よしこ) 隊員(シニア)(新潟県出身)

【活動内容】ベラグアス県ノルマル教員養成学校にて、小学校教育における指導支援を行います。

【ひとこと】2002年3月まで日本人学校で勤務しており、パナマ来訪は2度目です(プライベート旅行を除く)。またお世話になります。よろしく願います。

5. 政治経済情勢

●10月2日、与党パナメニスタ党内選挙が行われ、バレーラ日本・パナマ友好議員連盟会長(バレーラ大統領の兄)が総裁選に勝利し、10月9日の党大会で総裁(任期5年)に就任しました。

- 13日、経済財務省(MEF)は2016年の経済成長率を、当初見通しの6%から5.6%に下方修正した。
- 27日、来年度予算が議会にて承認された。承認額は前年比7.7%増の216億7,500万ドル。
- そのほかの経済月報については以下のURLに掲載。

http://www.panama.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000018.html

※本メールマガジンに関するご意見・ご要望や、配信停止をご希望される方は、次のアドレスまでご連絡ください：consular@pn.mofa.go.jp

発行：在パナマ日本大使館